

はあふる・ふくしま 別冊

福島県災害ボランティアセンター通信

Vol.12 2011年7月11日発行

●この情報紙について 被災地の復興と被災者の方のサポートを行う災害ボランティアの活動と、今すぐ役立つ情報や取り組みを皆様にお伝えする情報紙です。県内の災害ボランティアセンターなどで配布されます。(週一回程度) ご感想・ご意見は下記宛お寄せください。

発行: 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県災害ボランティアセンター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地
福島県総合社会福祉センター1F
TEL024-522-6540 FAX024-522-6546
http://www.pref-f-svc.org/



ボランティアレポート1

仮設住宅の暮らしに楽しみをつくり出す マイタウンマーケット



▲大人も子どももついつい夢中になってしまうというゴザ編み。材料は、遠藤商会提供の荷造り用のPPバンドです

マイタウンマーケットとは、4月から新地町でボランティア活動を続けてきた北澤潤さん(現代美術家)の提案で、新地町社会福祉協議会と災害ボランティアセンターの協力を得て6月からスタートしたお楽しみ企画です。「お店に敷くゴザを編むところから始めて市場を開こうというイベントです。店は、郵便局や図書館、カフェ、美容室、学校など、どれも町にあるパーツの中から自分たちが切り盛りできそうなものを選んで模して小さく作ります。それらをいくつも並べれば小さな町ができます。まずは、町をみんなで追体験して楽しむことが目標です」と北澤さん。取材をさせていただいた日は、どんな店を出すか話し合いの日でした。「カフェにケーキもほしい。うちのお母さん、ケーキ作り得意だから



▼2011年7月10日、新地町の小川公園応急仮設住宅の空きスペースで開催する「マイタウンマーケット」にどんな店を出すか話し合う皆さん



頼もしいかな」「写真屋さんはどう? 買い物に来た人を撮ってあげるの」「雑貨屋さん?」など、集まった子どもたちがいろいろな意見を出していました。「この企画のいいところは、大人も子どもも気軽に参加できることです。ゴザ編みも誰でも参加自由。集会所に来ればいつも誰かが編んでいます。集まれば会話も増えて、自然な見守りにもなります」とは、自治会長の横山隆さん。仮設住宅の暮らしに楽しみをつくり出すマイタウンマーケット。もしかしたら定期的な開催も夢じゃないかもしれないですね。(2011.6.27)

ボランティアレポート2

ふるさと新聞配達ボランティア (滋賀県高島市社会福祉協議会)



▲高島市の市営住宅で暮らす青山さんご夫妻(富岡町)「故郷の情報が定期的に読めるのは本当に助かります」と喜んでいただいています。

「ふるさと新聞配達ボランティア」は、高島市に避難されてきた皆さんのために、関西には分からない東北の復興の様子をきめ細かく伝えてくれる地方新聞をゆっくりご自宅で読んでいただきたいという思いから始めました。社協が赤い羽根共同募金を財源に福島や宮城の地元新聞を希望世帯分取り寄せ、配達は高島市内のボランティアがお届けします。「してもらって申し訳ない」と負担に思われない距離感でボランティアが関わり、高島市でのつながりづくりをゆっくり進めています。

地元応援団紹介

タカラ印刷株式会社

福島市渡利にあるタカラ印刷株式会社では、震災後、日頃からお世話になっている方々が今、一番困っていることを伺って協力していこうと社内で話し合いました。そこで決まったのが、電話対応のボランティアを必要としている県災害ボランティアセンターの支援でした。「通常業務をこなしながらの支援ということで、社外にも広げてスタッフを求めて取り組みました」と、高橋利男さん。実際に活動をスタートさせると、電話を取る度に福島を応援してくれている人が全国にいることが分かり、ボランティアをしながらたくさんの元気もらったそうです。「今考えているのは、仮設住宅で暮らす皆さんの支援です。慣れない土地で安心して暮らすための情報を届けるのも私たちの役目。一緒に考えたいです」と佐々木みゆみさん。さまざまな視点で情報伝達の方法を考えていきたいそうです。



▲電話対応ボランティアは、4月から6月の土日、計22日間続けられました。写真は同社の社員高橋利男さん



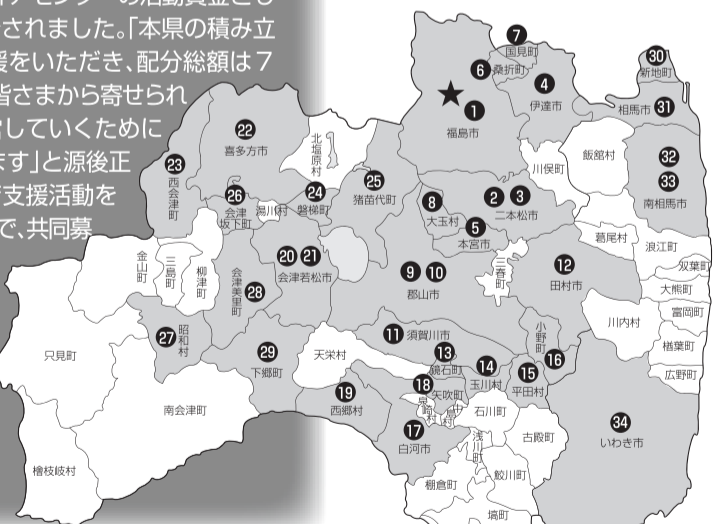
社会福祉法人 福島県共同募金会

福島県共同募金会では、大規模な災害が起こった際の備えとして募金の一定割合を「災害等準備金」として3年分積み立てています。今回の大震災では、県内の災害ボランティアセンターの活動資金として、27市町村社会福祉協議会へ迅速に配分されました。「本県の積み立てに加え、全国の共同募金会からもご支援をいただき、配分総額は7月5日現在で83,680,000円になりました。皆さまから寄せられた募金は、災害ボランティアセンターを運営していくために必要な支援資金として有効に使われています」と源後正崇さん。被災された方々の支援や被災地で支援活動を行う団体への支援はこれからも続きますので、共同募金会としても出来る限りの支援をしたいと考えています。併せて、今後とも赤い羽根共同募金への変わらぬご支援とご協力をお願いします。



市町村 災害ボランティアセンター MAP

7月11日現在、34カ所に設置されています。



★ 福島県災害ボランティアセンター …… Tel: 024-522-6540

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>1 福島市災害ボランティアセンター</p> <p>2 二本松市災害ボランティアセンター</p> <p>3 がんばろう!なみえ復興支援センター</p> <p>県北 4 伊達市災害ボランティアセンター</p> <p>5 本宮市災害ボランティアセンター</p> <p>6 桑折町災害ボランティアセンター</p> <p>7 国見町災害ボランティアセンター</p> <p>8 大玉村災害ボランティアセンター</p> <p>県中 9 郡山市災害ボランティアセンター</p> | <p>10 おだがいさまセンター
(ビッグレットふくしま生活支援ボランティアセンター)</p> <p>11 須賀川市災害ボランティアセンター</p> <p>12 田村市災害ボランティアセンター</p> <p>13 鏡石町災害ボランティアセンター</p> <p>14 玉川村災害ボランティアセンター</p> <p>15 平田村災害ボランティアセンター</p> <p>16 小野町災害ボランティアセンター</p> <p>17 白河市災害ボランティアセンター</p> <p>18 西郷村災害ボランティアセンター</p> | <p>19 矢吹町災害ボランティアセンター</p> <p>20 会津若松市災害ボランティアセンター</p> <p>21 生活支援ボランティアセンター「つなごう!おおくま」</p> <p>22 喜多方市災害ボランティアセンター</p> <p>23 西会津町災害ボランティアセンター</p> <p>24 磐梯町災害ボランティアセンター</p> <p>25 猪苗代町災害ボランティアセンター</p> <p>26 会津坂下町災害ボランティアセンター</p> <p>27 昭和村災害ボランティアセンター</p> | <p>会津 28 会津美里町災害ボランティアセンター</p> <p>南会津 29 下郷町災害ボランティアセンター</p> <p>30 新地町災害ボランティアセンター</p> <p>31 相馬市災害ボランティアセンター</p> <p>32 南相馬市災害ボランティアセンター(鹿島区)</p> <p>33 // (原町区)</p> <p>いわき 34 いわき市災害救援ボランティアセンター</p> |
|---|--|--|--|